

# 札幌市 産業振興ビジョン

●●●● さっぽろの産業をぐんぐん育てる ●●●●

概要版

2011—2020

平成23—32年度



わたし、市役所です。

札幌生まれ、札幌育ちの熱血漢で、札幌のまちについては、何でも知っています。  
今回は、産業と経済について、わかりやすく説明します。



ほく、ぐんぐん。

札幌市民が農業や自然とふれ親しみ、体験しながら憩い、楽しむことのできる施設「サッポロさとらんど」のキャラクターです。「種から芽がぐんぐん伸びて大きく成長してほしい」という願いを込めて付けられた名前なんだって。札幌市の産業もぐんぐん成長してほしいな。



# 札幌の産業の特徴



## 札幌の産業と経済は今どうなっているの？

ここでは、札幌市の産業と経済を取り巻く状況として、景気や産業構造のほか、経済と関連性のある人口の動向について、データを示しています。

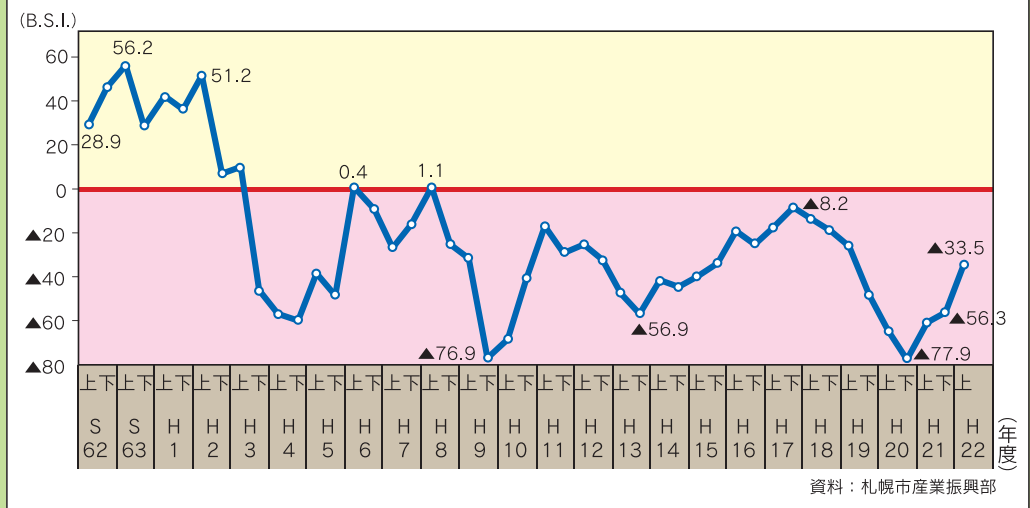
### 景気の状況

#### 低迷する景況感

景気が「上昇している」と回答した企業の割合から「下降している」と回答した企業の割合を差し引いたB. S. I. (景気動向指数)は、平成8年以降マイナスが続いています。



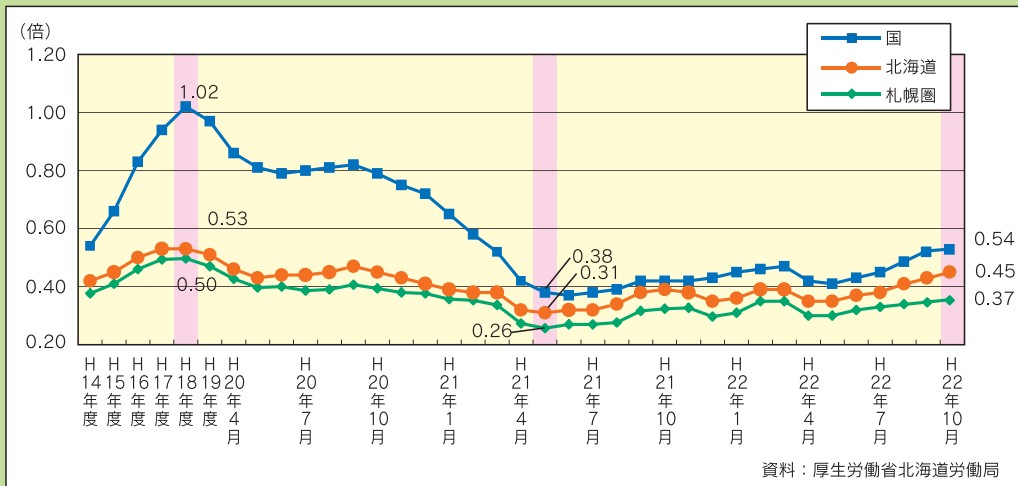
【図1】札幌市内企業の景気動向指数 (B. S. I.) の動き



不景気だって聞くけど、  
どういふこと？

【図2】有効求人倍率の推移

市内企業を対象に、毎年度2回(上期・下期)実施している「札幌市企業経営動向調査」の結果



有効求人倍率とは、ハローワーク(公共職業安定所)に登録している求職者数に対する求人数の割合

#### 低い水準の有効求人倍率

札幌市や北海道は、全国に比べて、働きたいと思う人(求職者)に比べて、働ける場所(求人数)が少ない状況にあります。



### 都市イメージ

【図3】地域ブランド調査の魅力度ランキング

	1位	2位	3位
平成18年	札幌市	神戸市	函館市
平成19年	札幌市	京都市	横浜市
平成20年	札幌市	函館市	京都市
平成21年	函館市	札幌市	京都市
平成22年	札幌市	函館市	京都市

資料：地域ブランド調査(㈱ブランド総合研究所)



ぼくは札幌が大好きだけど、まわりの人はどう思っているのかな？

#### 「最も魅力的な都市」としての評価

民間のシンクタンクが実施した「地域ブランド調査2010」の結果、札幌市は「最も魅力的な都市」に選ばれました。平成18年にはじまった過去5回の調査で4度1位に選ばれており、国内での札幌市の評価は高いと言えます。



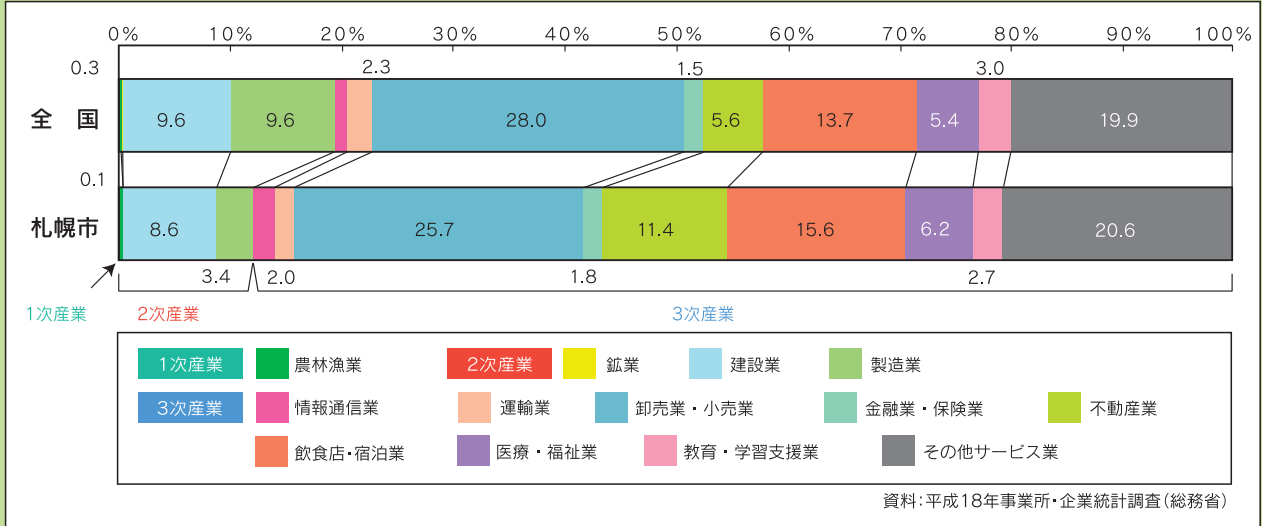
# 札幌の産業の特徴

## 産業構造



札幌の働く場所には  
どんなところがあるの？

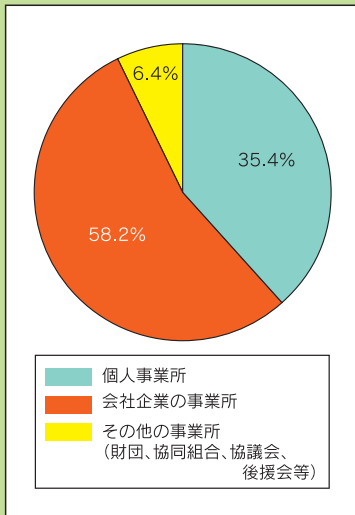
【図4】民営事業所数の産業別内訳



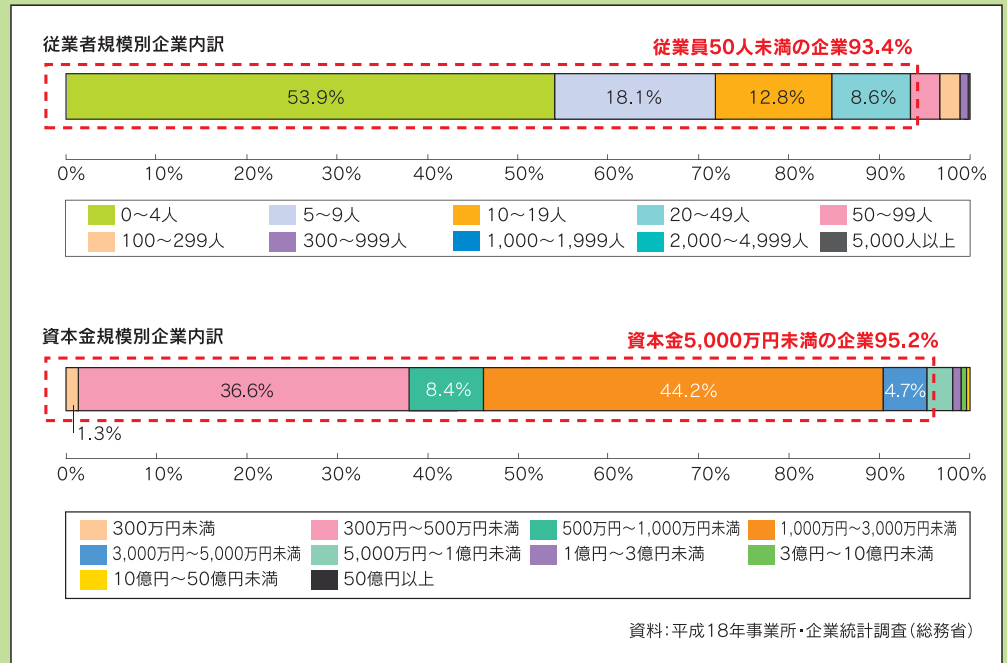
### 第2次産業が少なく第3次産業中心

札幌市は、製造業の事業所数の割合が、全国と比べて約3分の1となっているなど、第2次産業の割合が低く、卸売業・小売業や飲食店・宿泊業などの第3次産業が中心の産業構造となっています(図4)。

【図5】民営事業所数の内訳(札幌市)



【図6】会社企業(本社・本店のみ)の従業員規模別、資本金規模別企業内訳(札幌市)



### 中小企業で支えられている札幌市経済

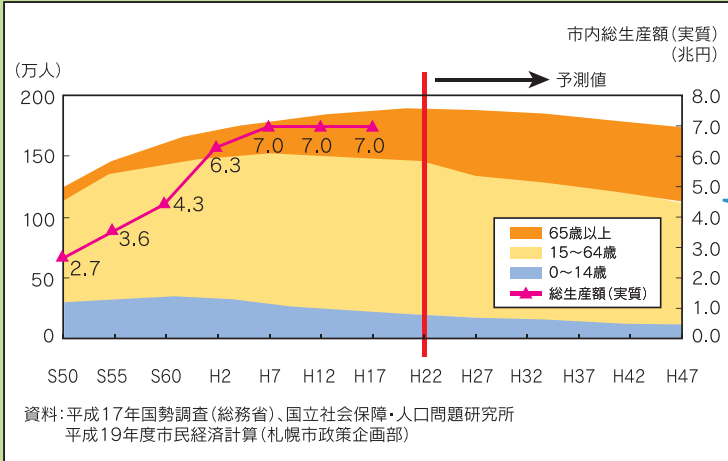
札幌市内の民営事業所数(計72,900事業所)のうち、35%は個人事業所で占められています(図5)。また、札幌市内の会社企業(本社・本店のみ計23,157企業)のうち、従業員50人未満の企業が93%、資本金5,000万円未満の企業が95%を占めています(図6)。このように、札幌市の企業の多くは、個人事業所を含む中小企業であり、札幌市の経済は、中小企業によって支えられていると言えます。



# 札幌の産業の特徴

## 人口の状況

【図7】札幌市の年齢別人口と総生産額(実質)の推移



札幌の経済が変わっていく原因は、どのようなことがあるんだろう？

### 人口減少・高齢化の進行

札幌市では、人口の増加とともに、市内総生産額も増加し、経済成長を続けてきました。しかし、今後は、人口減少や高齢化が進むと見込まれます(図7)。そうなると、消費する人も、働く人も減るので、企業の売上が減少し、経済規模が小さくなるのが懸念されます。



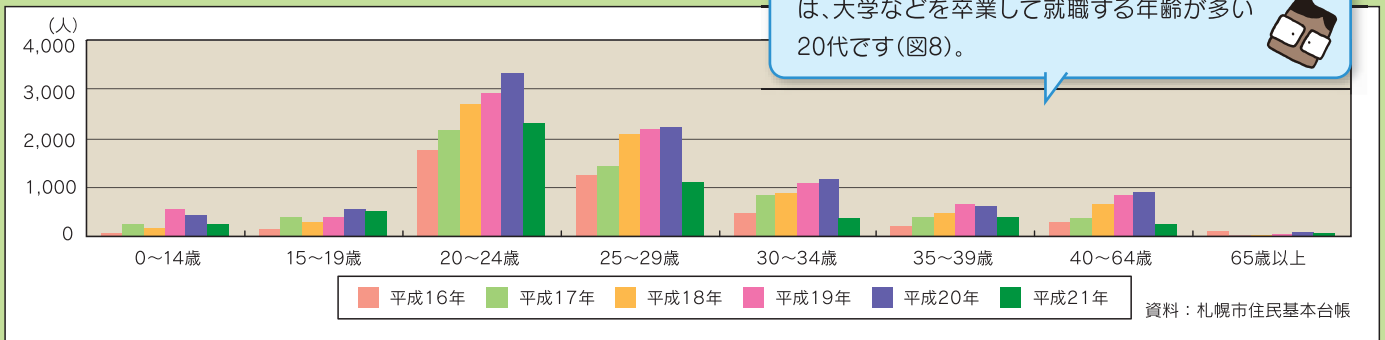
人口が減るのは少子化が理由って聞いたけど？

### 増加傾向にある道外転出者

そうですね。そのほかにも、道外に市民が転出していることも理由として挙げられます。札幌市と道外との人口動態は、全ての年代で転出者が転入者を上回る転出超過です。この中でも、特に転出超過数が多いのは、大学などを卒業して就職する年齢が多い20代です(図8)。



【図8】札幌市内から道外への転出超過数



## その他札幌市を取り巻く状況



他に札幌市の経済と産業を取り巻く状況はどうなっているのかな？



### グローバル化の進展、地球環境問題の意識の高まり

今世界は、国境を越えてヒト、モノ、カネ、技術、情報が自由に行き交う時代を迎えているほか、中国が著しい経済成長を遂げるなど、国際競争が激化しています。さらに、地球温暖化など環境問題が世界中で議論されています。環境と共存した社会の確立が求められる中、経済分野でも環境に配慮した事業活動の必要性が高まっています。



### 地域主権型社会の到来

近年、社会・経済状況の変化に迅速かつ的確に対応するため、各自治体の選択と責任により、地域の特色を活かした活力ある豊かな地域社会づくりを進めることが求められています。

このような時代の中で、札幌市は、市民や地域の企業とともに、知恵と工夫を凝らし、個性と特色を活かした産業が発達する札幌らしい地域づくりを進める必要があります。



# 産業振興の意義



## 産業振興ってなに？



産業の主演は企業です。元気な企業が増えることで、産業は活性化します。企業の事業活動をサポートし、力強い産業をつくるのが「産業振興」です。



産業が活性化するってどういうこと？



私たちが生活するうえで欠かせないもののひとつに「働く」ことがあります。産業は、働く場所そのものといえます。産業が元気になると、働く場所も増えます。



企業が元気になるだけではなくて、市民のみんなの生活にも関係あるんだね。



だから、札幌市では、市民、企業の皆さんから預かった税金を産業振興にも役立てているのです。

## 産業振興の目的は、次の①～③です。

これらは、まちづくりの好循環を生み出します。

### ①雇用の場の確保・創造

市民に働く場所、機会を提供します

### ②企業売上や就業者収入の増加

企業活動の活発化を通して、企業の売上増加や就業者の収入増加を目指します

### ③魅力あふれるまちづくりの実現

市民税や法人税の増加等により、市民サービスが向上し、市民にとって、快適で安心して住み続けたいと思えるまちづくりにつながります



# 産業振興ビジョンの全体像



## 産業振興ビジョンをつくりました!

推進期間 平成23年度から32年度

### 経済の成長をけん引する重点分野

地域の強みや時代の潮流を踏まえ、特に重点的に取組むべき分野を明確にしました。



食



観光



環境



健康・福祉



P7~P10で詳しく紹介しています



### 全産業を貫く横断的戦略

全産業の競争力を強化するための手法を、横断的戦略として決めました。



競争力を高めるための付加価値の創出

産業を支える人づくりと地域コミュニティづくりの推進

グローバル化への対応と販路拡大の推進

創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮

P11~P12で詳しく紹介しています



### 中小企業の経営革新と基盤強化

中小企業が、創意工夫と自主的な努力のもと、事業活動を円滑に行えるよう支援の方向性をまとめています。



経営革新と創業の促進

多様な人材の確保と育成

融資制度と経営アドバイスの充実

P13で詳しく紹介しています



# 基本理念と4つの視点

## 基本理念

### 地域の魅力と人の活力が創り出す チャレンジ都市さっぽろ

産業振興を行う際の  
スローガンです



足腰の強い経済基盤を確立し、経済の活力みなぎるまちとなるためには、地域資源や人材の魅力を十分に活かすことが必要です。そして、創意工夫による新たな産業の創出を目指して、常に挑戦し続けるという理念を、市民、企業、行政が共有し、一丸となって産業振興に取り組む必要があります。

## 産業振興を行ううえでの4つの視点

### 北海道経済の中心都市としての 機能・役割の発揮

札幌が有する都市機能を、北海道の他市町村にも十分に活用してもらうことが、札幌市経済はもとより、北海道経済全体の活性化につながります。したがって、札幌市は、道内市町村との連携を図りながら、北海道経済を下支えするという役割を担う必要があります。

### 国・道・経済団体等と連携した オール北海道体制での 産業振興

北海道経済全体の発展を見据えて札幌市経済の活性化を目指すためには、国や北海道、道内市町村など公的機関はもとより、経済団体、金融機関、教育研究機関との連携を積極的に進め、オール北海道体制での産業振興に取り組む必要があります。

### 道内循環の拡大と 道外需要の開拓

さらなる経済発展のためには、「地元のを地元で消費、利用する」という道内循環の拡大と、「道外、海外にモノやサービスを売る」という道外需要の開拓が重要です。北海道の約3分の1の事業所と人口が集まる札幌市の企業や市民が、率先してこの取組を行うことが、札幌市のみならず北海道全体の経済発展につながります。

### 創造性を活かした 産業の活性化

地域特性や都市の魅力と、市民、企業の創造性あふれるアイデアの融合により、新たな産業が創出される可能性が広がります。今後は、産業面において積極的に「創造性」の考え方を取り入れ、札幌ならではの新しい産業を創出させる取組が重要です。

# 札幌市経済の成長をけん引する重点分野

## 北海道の豊富な食

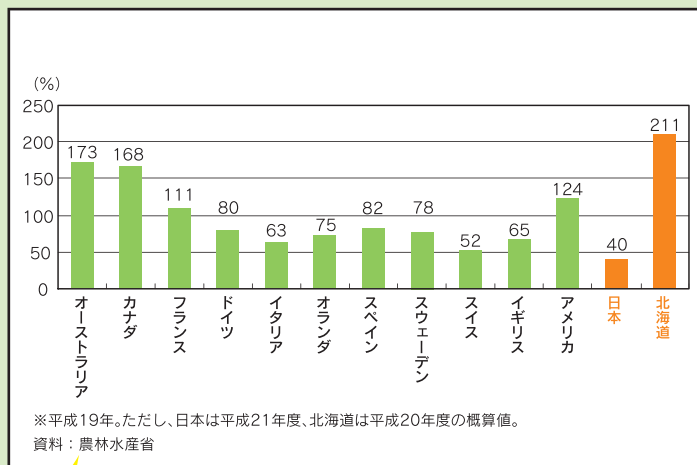
### 背景

北海道は、我が国最大の食料基地であり、広大な大地、豊かな四季を背景に、北海道の「食」は、高いブランドイメージを有しています。

さらに、北海道の人口や事業所の多くを擁する札幌市は、「食」の一大消費地であり、食料品製造業も集積しています。

このように、北海道・札幌市の「食」には優位性があり、また「食」は、様々な産業に関連することから、重点分野と定めます。

【図9】主要国別食料自給率(カロリーベース)



北海道は、食料自給率が200%を超えており、我が国最大の食料基地であるといえます。

### 基本施策

- ① 6次産業<sup>1</sup>の推進による道産食品の付加価値向上
- ② 地産地消の推進及び食育・健康の視点を取り入れた食産業の振興
- ③ 食ブランドを通じた観光振興及び食産業の基盤となる安全性の確保
- ④ 道外・海外への販路拡大及びニーズに応じた食品の創出
- ⑤ 市民や企業の参加による札幌らしい都市型農業の振興

ラーメンやスープカレー、さっぽろスイーツなど、全国的に有名な「食」がたくさんあるよね！



### 取組例 6次産業の推進による道産食品の付加価値向上

平成22年5月に、経済団体を中心に「食クラスター連携協議体」が設立され、北海道ならではの食の総合産業の確立に向けて、産学官が連携し、オール北海道で取り組む体制が整備されています。このような好機をとらえ、教育・研究機関や食関連製造業が集積する札幌市において、積極的に北海道の食資源の高付加価値化に取り組む必要があります。

### そこで札幌市は

道内生産者と札幌市の食料品製造業などをマッチングさせ、北海道の食資源の高付加価値化を図ることで、6次産業を推進します。

### 用語解説

<sup>1</sup>6次産業 第1次、第2次、第3次産業を融合させ、新たな産業振興を行うという考え方を表す用語。1×2×3=6であることに由来する。





## 観光

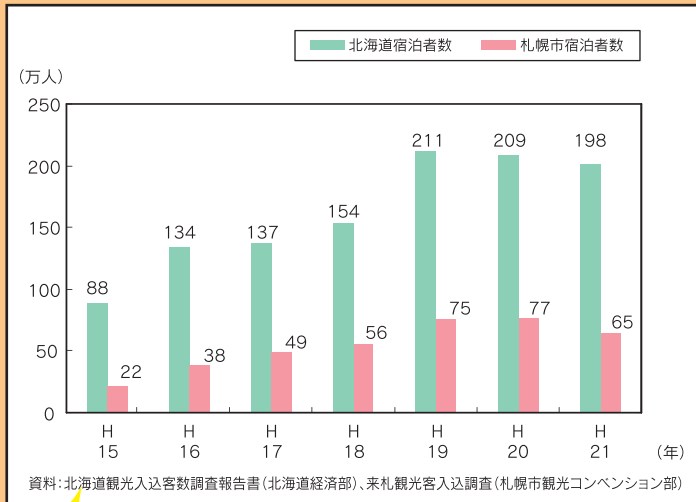
魅力的な資源を活かした

### 背景

豊かな自然景観や多様な観光地に恵まれる北海道・札幌市は、国内外から憧れを抱かれる観光王国です。特に近年、中国などアジア圏での知名度も高まっており、観光客誘致に絶好の機会が訪れています。

そこで、札幌市は、北海道観光の玄関口として、外貨を獲得するとともに、関連産業をけん引する「観光」について、重点分野と定めます。

【図10】外国人延べ宿泊者数の推移



北海道・札幌市を訪れる外国人観光客数は、増加傾向にあり、この6年間で2倍以上になっています。

### 基本施策

- ① 道内市町村との連携による観光資源を有効に活用した観光振興
- ② アジアなどをターゲットとしたプロモーションの推進
- ③ ニューツーリズムなどの新しい観光メニューの企画
- ④ 国内外からのMICE<sup>2</sup>誘致の推進など集客交流の活性化
- ⑤ 市民のホスピタリティの向上

今、北海道は、中国映画のロケ地になったりして、知名度が高まっているから、観光客を呼ぶ絶好の時期だよ!



### 取組例 ■ ニューツーリズムなどの新しい観光メニューの企画

近年、中国を中心としたアジア圏からの観光客は、増加傾向にあります。また、国内外の都市間競争の激化とともに、旅行形態の変化や旅行目的の多様化など、観光を取り巻く環境が大きく変化しています。このような中、新たな観光需要を創出するため、新しい切り口の観光メニューの企画により、積極的な観光客誘致の取組が必要です。



#### そこで札幌市は

北海道の強みである食をテーマとしたフードツーリズムや、緑に囲まれた自然環境、多数の温泉施設等を活用したヘルスツーリズムなど新しい観光メニューの企画を、道内他都市との連携により進めていきます。



#### 用語解説

<sup>2</sup>MICE(マイス) ビジネス会議(Meeting)、企業の報奨旅行(Incentive tour)、コンベンション(Convention)、展示会・見本市(Exhibition)の頭文字をとった造語。

# 札幌市経済の成長をけん引する重点分野

## 全社会が一丸となって取り組む **環境**

### 背景

地球環境問題が全世界共通の課題となる中、北海道の自然を活かしたエネルギーや、積雪寒冷地特有の技術などを背景に、地球環境問題への貢献を念頭に置いた産業を確立する必要があります。

そこで、今後、全社会が一丸となって取り組む必要がある「環境」について、重点分野と定めます。



「環境首都・札幌」宣言のロゴ



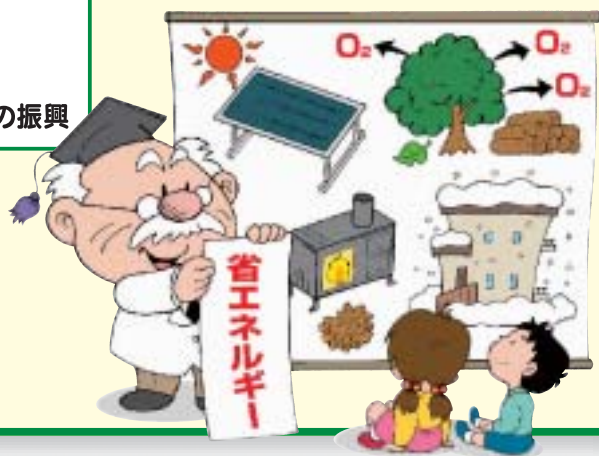
札幌市は、はっきりとした四季、緑豊かな街並みなど、自然に恵まれた環境の中にあります。この環境をより良いものとし、次世代を担う子どもたちに引き継いでいくため、市民一人ひとりがこれまで以上に地球環境保全に取り組んでいく決意をし、平成20年6月に「環境首都・札幌」宣言を行いました。

### 基本施策

- ① 北海道・札幌市の強みを活かした環境関連産業の創出
- ② 省・新エネルギーの研究開発、導入の促進及び人材育成
- ③ 副産物、廃棄物の利活用を通じた環境関連産業の振興
- ④ 冷涼な気候を活かしたグリーンIT<sup>3</sup>の推進
- ⑤ 市民及び事業者の環境配慮活動の促進を通じた関連産業の振興



北海道の大自然の恵みは、将来残すべき財産だね。



### 用語解説

<sup>3</sup>グリーンIT 環境配慮の原則をITにも適用したものであり、IT製品製造時の有害物質含有量の最小化、データセンターのエネルギーや環境面での影響への配慮、さらには、リサイクルへの配慮等も含めた包括的な考え方を指す。

### 取組例 北海道・札幌市の強みを活かした環境関連産業の創出

北海道は、世界に誇ることができる豊かな自然環境に恵まれ、森林資源を活用した木質系バイオマス資源等のほか、冷涼な気候を活かした自然冷熱などの環境エネルギーが豊富に存在します。その他、積雪寒冷地独自の環境技術を有する企業の存在など、北海道における環境分野の潜在能力を活かす必要があります。



#### そこで札幌市は

北海道が豊富に有する森林を活かした「木質ペレット」などバイオマスエネルギーの開発・製造の促進を図るほか、積雪寒冷地ならではの雪冷熱エネルギーなどの導入を促進します。



## 健康・福祉

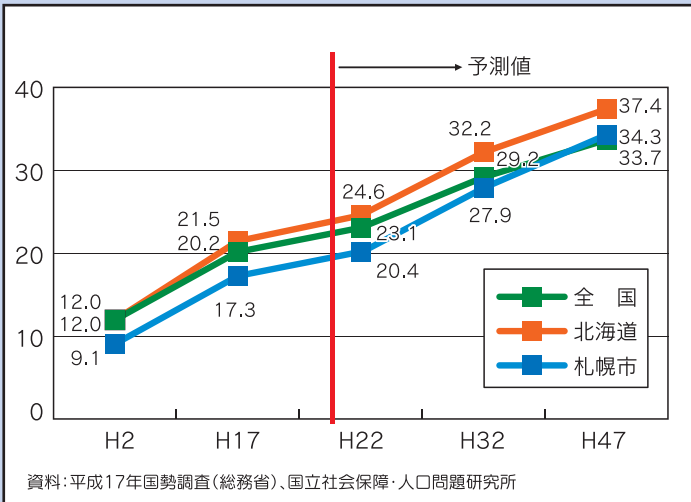
今後需要が拡大する

### 背景

高齢化が進展する中、健康増進への関心が高まっているほか、高齢者を取り巻く生活環境も大きく変化しており、介護、生活支援サービス等の重要性が増えています。

そこで、超高齢社会を目前に控え、安全・安心な生活を支える産業の創出・育成が期待されていることから、「健康・福祉」を重点分野と定めます。

【図11】65歳以上の人口割合の推移



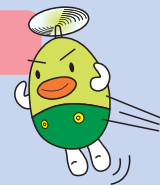
札幌市・北海道の高齢化率は、将来的に全国を上回るペースで進行していくと見込まれます。

### 基本施策

- ① バイオテクノロジーを活かした健康関連産業の振興
- ② 健康意識の高まりに伴う関連サービス産業の振興
- ③ 福祉・介護分野における研究開発の促進
- ④ 福祉・介護関連サービス産業の振興と人材育成の推進



健康は全ての人の願いだね。



### 取組例 福祉・介護分野における研究開発の促進

近年、高齢化の進展の中で、医療・介護に関するニーズの高まりを背景に、健康・福祉関連ビジネスは、大きな成長の可能性を秘めています。そのような中、札幌市では、集積している教育・研究機関と連携し、市民のニーズに対応した福祉・介護分野での研究・製品開発を進めていくことが求められています。

#### そこで札幌市は

教育・研究機関の機能を活用し、産学官による医療・福祉・介護分野とIT分野・デザイン分野との連携を図るほか、冬期の外出をサポートする新たな福祉・介護器具の開発など、地域特性を活かした新技術・新製品の開発を促進します。

# 札幌市産業の高度化に向けた横断的戦略

## 競争力を高めるための付加価値の創出

産業全体の高度化のためには、モノやサービスの付加価値を高めることが重要です。例えば、北海道において優位性のある食材を、より魅力あふれる商品とするため、業種間連携や研究機関との連携による加工技術の向上に取り組みます。また、IT技術や映像・デザイン等のコンテンツを活用して付加価値を高める取組や、道外からの戦略的な企業誘致により、企業の競争力を高める取組を進めていきます。

### 基本施策

- ① 同業種・異業種連携の促進を通じた付加価値の向上
- ② 知の集積を活用した産学官連携による付加価値の向上
- ③ ITやコンテンツの活用による高付加価値化とIT産業の活性化
- ④ 戦略的な企業誘致の促進



## 産業を支える人づくりと地域コミュニティづくりの推進

企業経営の基本は「人づくり」であることから、グローバル化などを見据えた人材の育成を、教育機関と連携しながら進めていきます。また、優秀な人材を道外から誘致することで企業の競争力を高め、企業経営の向上につなげていきます。さらに、地域商店街などの活性化により、地域づくりの視点から新たなビジネスを構築していきます。

### 基本施策

- ① グローバル化など社会環境の変化に対応する高度人材の育成
- ② 教育機関等との連携を通じた若年層からの人材育成
- ③ UIターン<sup>4</sup>や二地域居住<sup>5</sup>の促進による首都圏等からの人材誘致
- ④ 地域コミュニティの重要な担い手である商店街の振興
- ⑤ 地域社会に貢献するコミュニティビジネス<sup>6</sup>・ソーシャルビジネス<sup>7</sup>の振興



### 用語解説

<sup>4</sup>UIターン UIターンとは、地方で生まれ育った人が一度都市で勤務した後に、再び自分の生まれ育った故郷に戻って働くこと。Iターンとは、生まれ育った故郷以外の地域に就職すること。

<sup>5</sup>二地域居住 多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、複数の生活拠点を持つこと。

<sup>6</sup>コミュニティビジネス 地域の住民が主体となって、地域内の資源を活かしながら、その地域の課題について「ビジネス」の手法で取り組むもの。

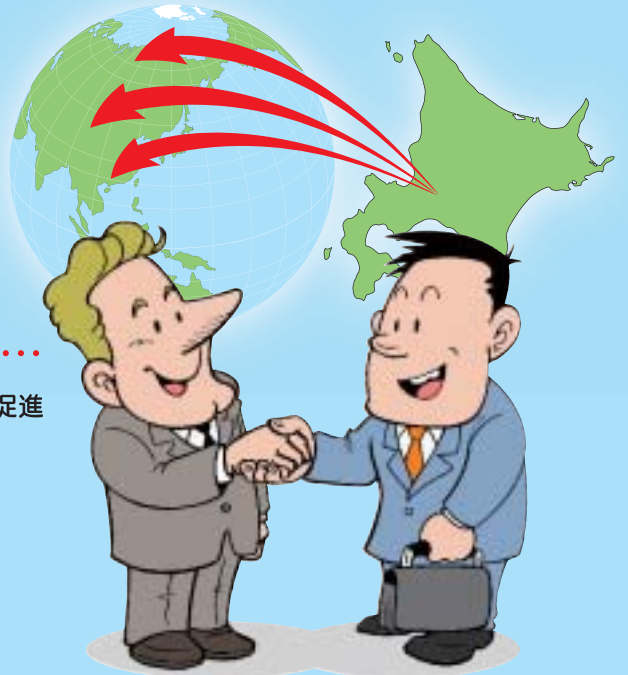
<sup>7</sup>ソーシャルビジネス 環境・医療・福祉など地域の様々な社会的課題を、ボランティアではなく、工夫をこらした「ビジネス」の手法を用いて解決しようとするもの。





## グローバル化への対応と販路拡大の推進

国内の市場が縮小傾向にある一方、世界との関係が急速に深まる中で、世界を見据えたグローバル戦略の構築が重要です。そのため、成長が著しい中国やロシアなどを主な対象に、積雪寒冷地技術や食など、強みを活かした海外進出の促進や企業間連携、人材交流を進めます。また、安定的な商流・物流ネットワーク体制を強化することで、企業の販路拡大を促進していきます。



### 基本施策

- ① 積雪寒冷地技術や北海道の食など強みを活かした海外進出の促進
- ② 海外企業との企業間連携の充実
- ③ 販路拡大に向けた商流・物流ネットワーク体制の強化
- ④ アジアなど海外企業との架け橋となる人材の育成

## 創造性を活かした札幌らしい魅力の発揮

魅力的なまちづくりを進めるためには、札幌市の特徴や強みと創造性を融合した新しい産業の創出・育成を進めることが重要です。そのため、企業が有する積雪寒冷地技術を活用した産業振興や、ウィンタースポーツ・プロスポーツの活性化を通じた産業の創出のほか、映像やデザインなどのコンテンツ産業、音楽など芸術文化を活かした産業について振興を図ります。

### 基本施策

- ① 積雪寒冷地技術を活用した海外進出の促進
- ② ウィンタースポーツなど札幌の気候風土を活かしたスポーツ産業の振興
- ③ プロスポーツチームを軸にした地域経済の活性化
- ④ 映像やデザインなどのコンテンツ産業の活性化
- ⑤ 音楽分野を中心とした文化芸術の発信による地域経済の活性化
- ⑥ 市民や企業などと連動した創造性のある新たな文化産業の創出



# 札幌市経済を支える中小企業の経営革新と基盤強化

札幌の企業活動を支えます！



## ● 経営革新と創業の促進

市内企業の9割以上を占める中小企業がさらなる発展を遂げることで、札幌市経済の全体が活性化することから、中小企業の経営基盤を強化し、経営革新に取り組みやすい環境を整備することが必要です。そのため、新分野や新市場への進出に取り組む中小企業の事業展開を促進するほか、女性の力を活かすなど創業の促進を図ります。



### 基本 施策

- ① 企業の新分野進出及び新規市場開拓の促進
- ② 女性の潜在能力の活用をはじめとした創業の促進

## ● 多様な人材の確保と育成



さらなる中小企業の経営基盤の強化のためには、多様な人材の確保はもちろん、確保した人材が企業の中心的な役割を担い、札幌市産業をリードするような人材に育てることが重要です。そのため、女性などの就業を促進するほか、中小企業の経営基盤を強化するための人材育成の充実を図ります。

### 基本 施策

- ① 女性、障がい者、高齢者、外国人の能力を活かす就業促進
- ② 雇用のミスマッチ解消に向けた人材育成
- ③ 中小企業の経営基盤強化に資する人材育成メニューの充実
- ④ 円滑な事業承継を行うための人材育成、経営アドバイス等の充実

## ● 融資制度と経営アドバイスの充実

昨今の経済情勢の悪化に伴い、中小企業は厳しい経営環境に置かれています。今後とも、経済状況の予測は難しく、市場のニーズの変化など新たな経営課題が持ち上がることが予想されることから、融資制度や経営アドバイスの充実を通して、中小企業の経営基盤の強化を図ります。



### 基本 施策

- ① 中小企業者の事業活動を促進するための融資メニューの充実
- ② 関係機関が連携した中小企業経営アドバイス体制の充実

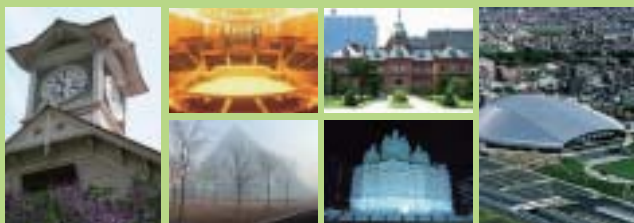
# 札幌はこんなまちを目指します!



1

## 地域資源を活かした 創造性あふれるまち

札幌市には、北海道の風土や特性、資源のほか、札幌市が持つ都市機能など企業の創意工夫の可能性を多く秘めています。札幌市は、これらの強みを活かした創造的な事業展開が図られるまちを目指します。



2

## 中小企業の活気があふれ 新しい時代を先導するまち

札幌市の企業の大部分は中小企業であることから、中小企業の成長なくして、札幌市の経済成長はありません。

札幌市は、中小企業の若々しく活力あふれる企業活動を促進し、新しい時代を先導するまちを目指します。



3

## 世界に羽ばたく企業が躍進する 活力あふれるまち

経済のグローバル化が急速に進んでいる中、札幌市は、世界に通用する新しい技術を開発する企業や、世界で求められている新しい分野に挑戦する企業が次々と生まれる活力あふれるまちを目指します。



4

## 人と企業が世界中から集まる 魅力的なまち

札幌市は、魅力的な産業を育成し、人材の流出を抑制するとともに、道外や海外からの人材誘致や企業誘致のほか、観光の振興を通して、人や企業の多面的な交流が生まれるまちを目指します。



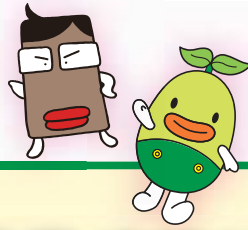
5

## 個性的なまちづくりと産業が結びつき 地域がにぎわうまち

地域社会は、高齢者などの介護・福祉、子育て支援、さらにはにぎわいづくりなど、地域独自の様々な課題を有しています。札幌市は、地域に根付いた産業が、地域のにぎわいと暮らしの安全・安心を支える豊かなまちを目指します。







## 札幌市の企業・市民の皆さまへ

札幌には、たくさんの魅力があふれています。この魅力を持続させ、札幌で事業活動を行う企業が、そして働く市民の皆さんが元気になり、札幌に愛着を持って将来にわたって住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めることが、札幌市の役割です。そのためには、行政だけではなく、企業・市民皆さん一人ひとりの力が必要です。



まず、産業の主役である企業の皆さんが、時代の変化を捉え、創意工夫を重ねながら、事業活動を展開していくことが必要です。

また、市民の皆さんは、ぜひ札幌の産業のファンであってほしいと思います。札幌で作られるモノや提供されるサービスを率先して利用し、評価し、改善を促すことが新たな商品の開発につながり、産業全体がもっと活性化していくことにつながります。

札幌市では、これからも企業・市民の皆さんと一緒に、経済の活力がみなぎるまちづくりを進めていきたいと考えています。今よりもっと魅力的なまちを、皆さんで実現しましょう！



発行：平成23年(2011年)1月

札幌市経済局産業振興部経済企画課

電話 (011)211-2352 FAX (011)218-5130

E-mail: keizaikikaku-kikaku1@city.sapporo.jp

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/keikaku/vision.html>



さっぽろ市  
02-K03-10-1174  
22-2-174